

平成25年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月12日

上場会社名 株式会社ティー・ワイ・オー 上場取引所 大
 コード番号 4358 URL http://group.tyo.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 博昭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営戦略本部長 (氏名) 上窪 弘晃 (TEL) 03-5434-1586
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第1四半期の連結業績(平成24年8月1日~平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第1四半期	5,111	△4.8	267	14.7	230	—	189	—
24年7月期第1四半期	5,366	12.9	233	△0.1	△41	—	△74	—

(注) 包括利益 25年7月期第1四半期 195百万円(—%) 24年7月期第1四半期 △101百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第1四半期	3.17	3.06
24年7月期第1四半期	△1.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年7月期第1四半期	12,708	3,697	28.0
24年7月期	12,437	3,618	28.0

(参考) 自己資本 25年7月期第1四半期 3,556百万円 24年7月期 3,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年7月期	—	—	—	—	—
25年7月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年8月1日~平成25年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	△6.9	750	△2.9	650	33.6	300	136.4	5.02
通期	25,000	3.5	1,600	10.5	1,400	28.0	700	△37.5	11.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年7月期1Q	59,736,930株	24年7月期	59,736,930株
② 期末自己株式数	25年7月期1Q	608株	24年7月期	608株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年7月期1Q	59,736,322株	24年7月期1Q	59,736,467株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要を背景として緩やかな回復基調が続いていたものの、世界経済の下ぶれや長期化する円高等を受けて景気は足踏み状態にあります。当社が事業を展開している広告業界におきましても、東日本大震災後の復興関連需要は一巡しつつあります。

このような市況環境の下、当社グループにおいては案件受注は堅調に推移いたしましたが、海外子会社の連結除外の影響を受けて、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。営業利益につきましては、前述の不採算海外子会社を連結除外したこと及び当社グループ全体で収益管理の徹底に努めたことにより、前年同四半期比で増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高5,111百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益267百万円（前年同四半期比14.7%増）、経常利益230百万円（前年同四半期は41百万円の経常損失）、四半期純利益189百万円（前年同四半期は74百万円の四半期純損失）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額25百万円が含まれております。

セグメント別の概況は次の通りであります。

①TV-CM事業

当事業におきましては、主として広告代理店向けにTV-CMの企画・制作及びポスト・プロダクション業務を行っております。

当事業の業績におきましては、企画・制作機能の一層の充実と、TV-CM制作業界の大手1社であることの優位性を活かした積極的な営業展開により、全体として堅調に推移したものの、震災後の復興需要が一巡したこと及び既存の大型得意先からの受注が減少したこと等により、前年同四半期比で減収減益となりました。

以上の結果、当事業は売上高3,591百万円（前年同四半期比8.6%減）、営業利益616百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額9百万円が含まれております。

②マーケティング・コミュニケーション事業

当事業におきましては、主として広告主向けにWEB広告及びプロモーションメディア広告の企画・制作等、クロスメディア広告業務を行っております。

当事業では、本年9月、瑞思華広告（上海）有限公司（Great Works China Co., Ltd.）の出資持分及びグレートワークス株式会社の保有株式を譲渡したことによる連結除外に伴い、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。また、一部案件の作業の長期化及び人材に対する先行投資の実施により、営業損失を計上しております。

以上の結果、当事業は売上高1,079百万円（前年同四半期比8.7%減）、営業損失56百万円（前年同四半期は、30百万円の営業損失）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額16百万円が含まれております。

なお、当社は、本年10月にトヨタ自動車グループの株式会社デルフィスと合弁会社「PT. DELPHYS INDONESIA CONSULTING」を設立し、本年11月に営業を開始いたしました。当社は、当第1四半期連結累計期間までに当社グループの海外子会社を全て連結除外いたしました。今後は、中期経営計画の基本方針の一つとして掲げる「海外展開の推進」を実現するために、新興国地域（アジア、中近東、アフリカ、中南米地域）において、日系企業を対象とした広告活動サポート領域での拡大を図ってまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて270百万円増加し、12,708百万円となりました。主な要因としましては、仕掛品が668百万円、有形固定資産が92百万円、差入保証金が46百万円増加しましたが、現金及び預金が396百万円、受取手形及び売掛金が222百万円がそれぞれ減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて192百万円増加し、9,011百万円となりました。主な要因としましては、前受金が297百万円、買掛金が207百万円、リース債務（短期及び長期）が69百万円増加しましたが、未払金が249百万円、長期借入金が175百万円がそれぞれ減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて78百万円増加し、3,697百万円となりました。主な要因としましては、四半期純利益の計上により189百万円増加しましたが、配当金の支払により119百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月13日に発表いたしました、平成25年7月期第2四半期及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,653,301	2,256,376
受取手形及び売掛金	3,394,512	3,171,785
仕掛品	1,565,380	2,233,574
原材料及び貯蔵品	6,504	6,937
繰延税金資産	228,981	234,155
その他	189,798	242,369
貸倒引当金	△27,067	△25,295
流動資産合計	8,011,411	8,119,904
固定資産		
有形固定資産	1,989,499	2,081,604
無形固定資産		
のれん	381,828	355,892
その他	67,037	82,327
無形固定資産合計	448,865	438,219
投資その他の資産		
投資有価証券	88,897	88,645
出資金	15,175	19,376
繰延税金資産	639,649	656,070
保険積立金	857,131	871,795
差入保証金	348,206	394,468
破産更生債権等	754,251	754,221
その他	40,937	40,626
貸倒引当金	△756,251	△756,221
投資その他の資産合計	1,987,997	2,068,982
固定資産合計	4,426,362	4,588,807
資産合計	12,437,773	12,708,711
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,513,489	2,720,795
1年内返済予定の長期借入金	700,000	700,000
未払金	723,672	473,838
リース債務	115,838	128,862
未払法人税等	55,737	44,722
前受金	155,057	452,680
賞与引当金	5,509	10,250
資産除去債務	5,600	5,600
その他	82,020	122,486
流動負債合計	4,356,926	4,659,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
固定負債		
長期借入金	3,950,000	3,775,000
リース債務	175,281	231,973
退職給付引当金	16,202	16,168
役員退職慰労引当金	258,771	265,471
資産除去債務	61,541	63,707
その他	409	—
固定負債合計	4,462,206	4,352,322
負債合計	8,819,133	9,011,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,751,057	1,751,057
資本剰余金	747,189	747,189
利益剰余金	1,000,066	1,070,473
自己株式	△109	△109
株主資本合計	3,498,203	3,568,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,338	△12,356
為替換算調整勘定	△2,781	—
その他の包括利益累計額合計	△14,119	△12,356
新株予約権	61,226	69,551
少数株主持分	73,329	71,348
純資産合計	3,618,639	3,697,153
負債純資産合計	12,437,773	12,708,711

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成24年10月31日)
売上高	5,366,593	5,111,040
売上原価	4,286,136	4,133,645
売上総利益	1,080,456	977,395
販売費及び一般管理費	847,397	710,076
営業利益	233,058	267,319
営業外収益		
受取利息	1,550	115
保険返戻金	7,831	297
組合出資分配金	4,619	3,540
その他	7,586	7,594
営業外収益合計	21,588	11,547
営業外費用		
支払利息	28,339	20,754
売上債権売却損	13,070	11,276
為替差損	30,996	142
組合出資減価償却費	6,031	—
シンジケートローン手数料	198,650	7,727
借入金繰上返済費用	3,096	—
支払手数料	5,000	4,999
その他	10,666	3,507
営業外費用合計	295,851	48,407
経常利益又は経常損失(△)	△41,204	230,458
特別利益		
新株予約権戻入益	1,047	—
関係会社株式売却益	—	18,035
その他	297	4
特別利益合計	1,344	18,039
特別損失		
関係会社株式売却損	—	29,531
海外事業損失引当金繰入額	8,473	—
会員権評価損	15,292	—
その他	1,107	5,790
特別損失合計	24,874	35,321
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△64,734	213,176
法人税、住民税及び事業税	44,746	46,479
法人税等調整額	△5,530	△26,968
法人税等合計	39,215	19,511
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△103,950	193,665
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△29,225	3,784
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74,724	189,880

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△103,950	193,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,890	△1,016
為替換算調整勘定	2,279	2,781
持分法適用会社に対する持分相当額	4,058	—
その他の包括利益合計	2,448	1,764
四半期包括利益	△101,501	195,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,325	191,643
少数株主に係る四半期包括利益	△16,176	3,786

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成23年10月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「TV-CM事業」、「マーケティング・コミュニケーション事業」の2つを報告セグメントとしております。「TV-CM事業」は、TV-CMの企画・制作、並びにポスト・プロダクション業務を行っております。「マーケティング・コミュニケーション事業」は、国内外におけるWEB広告、プロモーションメディア広告の企画・制作等、クロス・メディア広告事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティ ング・コミュニ ケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	3,929,103	1,182,075	5,111,179	255,413	—	5,366,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,130	60,657	78,787	13,500	△92,287	—
計	3,947,233	1,242,733	5,189,966	268,913	△92,287	5,366,593
セグメント利益又は損失(△)	681,087	△30,534	650,553	18,844	△436,339	233,058

(注) 1 その他は、アニメーション、テレビ番組、ミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額 △436,339千円には、セグメント間取引消去16,502千円及び全社費用△452,841千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年8月1日至平成24年10月31日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「TV-CM事業」、「マーケティング・コミュニケーション事業」の2つを報告セグメントとしております。「TV-CM事業」は、主として広告代理店向けにTV-CMの企画・制作及びポスト・プロダクション業務を行っております。「マーケティング・コミュニケーション事業」は、主として広告主向けにWEB広告及びプロモーションメディア広告の企画・制作等、クロスメディア広告業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	3,591,376	1,079,704	4,671,080	439,960	—	5,111,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134,504	5,558	140,062	10,344	△150,406	—
計	3,725,880	1,085,262	4,811,142	450,304	△150,406	5,111,040
セグメント利益又は損失(△)	616,612	△56,269	560,342	78,830	△371,854	267,319

(注) 1 その他は、アニメーション及びミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△371,854千円には、セグメント間取引消去25,322千円及び全社費用△397,176千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微です。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。